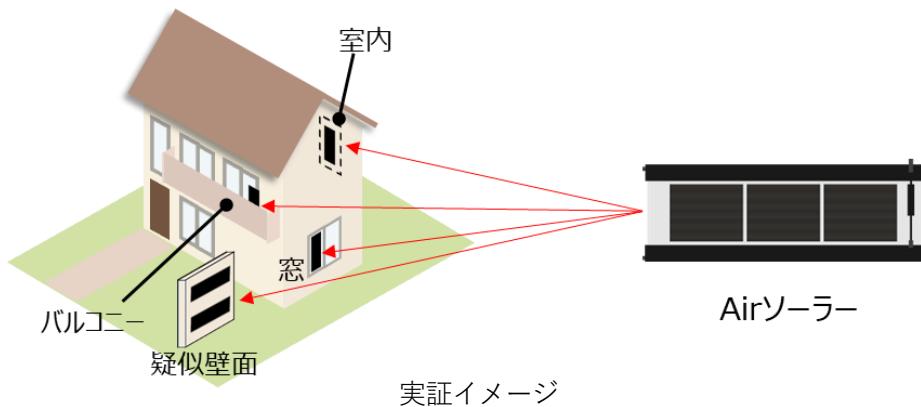


2025年12月16日

## 住宅施設におけるフィルム型ペロブスカイト太陽電池の導入実証が 東京都の推進事業に採択

東京ガス株式会社  
株式会社マクニカ

東京ガス株式会社（社長： 笹山 晋一、以下「東京ガス」）と株式会社マクニカ（社長： 原 一将、以下「マクニカ」）が飯田グループホールディングス株式会社（以下「飯田GHD」）、株式会社麗光（以下「麗光」）と共同で取り組む、住宅施設の壁面やバルコニーへのフィルム型ペロブスカイト太陽電池「Airソーラー」\*<sup>1</sup>の施工性・発電性能を評価する実証（以下「本実証」）が、このたび、東京都の「Airソーラー社会実装推進事業」\*<sup>2</sup>に採択されました。



エネルギー政策の方向性として、第7次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーの主力電源化と最大限の導入が掲げられ、太陽光発電が2040年の電源構成に占める割合は23~29%となる見通しです。また東京都は、2050年ゼロエミッション東京の実現に向け、2035年までに都内に太陽光発電設備を350万キロワット導入するという政策目標を設定しています。「薄く、軽く、曲がる」という特徴を有するAirソーラーと新たな施工方法の開発により、壁面やベランダ、室内など従来の太陽光パネルでは設置が難しかった場所への導入が可能となり、住宅への太陽光発電設備の普及加速が期待されます。

本実証では、飯田GHDが提供する日野市のモデルハウス\*<sup>3</sup>を活用し、マクニカと麗光が開発・製造するAirソーラーを、東京ガスが開発する施工方法により設置し、設置場所ごとの発電性能の評価、施工方法の信頼性評価を行います。東京ガスは、これまでの太陽光発電に関する研究や事業で培ってきた施工・解析技術を本実証に転用します。マクニカは、これまでのペロブスカイト太陽電池に関する実証事業で培った豊富なノウハウを活かし、本実証へ技術力を提供します。

本実証を通じて、住宅におけるAirソーラーの社会実装を加速し、日本政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現に貢献していきます。

<参考：本実証の内容>

実証期間	2026年1月～2026年12月
実証内容	<p>下記検証を通じた、設置場所ごとの発電性能評価と施工方法の信頼性評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直壁面（擬似壁面）での検証</li> <li>・ベランダ部分での検証</li> <li>・室内壁での検証</li> <li>・窓での検証（接着工法・窓枠固定工法）</li> <li>・住宅における設置交換が容易な手法の検証</li> </ul>
各社役割	<p>東京ガス：全体統括、現地施工、A i rソーラーデータ解析、実証内容の検証</p> <p>マクニカ：A i rソーラー開発、運用・データ計測に関するシステム構築</p> <p>飯田GHD：実証フィールド提供</p> <p>麗光：A i rソーラー製造</p>

\*1: A i rソーラーについて [日本生まれの太陽電池の名前は「A i rソーラー」|8月|都庁総合ホームページ](#)

\*2: 東京都の補助事業について [A i rソーラー社会実装推進事業 | クール・ネット東京：東京都地球温暖化防止活動推進センター](#)

\*3: [日野ショールーム | 街角リアルモデル | 予算内でこだわりを叶える高品質の注文住宅 | 東栄住宅のブルーミングクラフト](#)

以上